

## 第71回春季東北地区高等学校野球宮城県大会

□大会第5日目 5月22日(水)

準々決勝	仙台市民球場	2時間 2分	打安点盗犠四三残失併
東陵	1 0 0 0 0 0	0 0 0	【東】 32 7 1 0 2 2 9 8 0 0
仙台育英	0 0 1 0 0 0	0 2 X	【仙】 28 7 3 1 1 2 5 4 1 0
(球) 布田 秀斗 (一) 細川 和行 (二) 毛利 晃 (三) 遊佐 敏彦			▽本塁打 なし
【東】 熊谷太	—	三宅	▽三塁打 山口(育)
【仙】 武藤, 吉川, 山口	—	川尻	▽二塁打 なし (東)
▽暴投 なし		▽捕逸 三宅1(東)	なし (仙)

## 【評】

昨秋の県大会準々決勝と同じ顔合わせとなったこの試合は、仙台育英が昨秋の雪辱を晴らした。東陵高校は初回、仙台育英の先発武藤の立ち上がりを攻め立て、一死一、三塁から眞壁の左前適時打で先制した。対する仙台育英は三回裏、一死満塁から濱田の遊ゴロの間に同点とした。その後は拮抗した展開が続いたが、八回裏、仙台育英の先頭打者山口の中越三塁打を皮切りに山中、湯浅の適時打で二点を勝ち越し、試合を決めた。東陵は五回と八回に三塁まで走者を進めたものの、あと一本が出ず涙をのんだ。

準々決勝	仙台市民球場	1時間 37分	打安点盗犠四三残失併
仙台南	0 6 0 0 0 1	0	【城】 25 7 3 1 6 4 9 7 0 0
仙台南	0 0 0 0 0 0	0	【南】 23 3 0 0 0 3 10 5 2 0
(球) 浅野 卓也 (一) 橋田 代志昭 (二) 西山 充 (三) 毛利 晃		( 7回コールド )	▽本塁打 なし
【城】 小塚	—	阿部	▽三塁打 なし
【南】 阿部, 石川	—	成田	▽二塁打 なし (城)
▽暴投 なし		▽捕逸 成田1(南)	なし (南)

## 【評】

仙台南高校が7回コールドゲームで仙台南高校を下した。仙台南は2回の攻撃で、仙台南の四球、野選による満塁のチャンスから、エラーとヒットを絡めて、一気に6点を挙げて試合の主導権を握った。仙台南のエース小塚は、両サイドを丁寧に投げ分けるピッチングで、7回を被安打3本、10奪三振の非常に安定した投球で仙台南打線を寄せつけなかった。仙台南は3回以降、安定した守備で仙台南の攻撃を防いだ。特に3回から登板した石川は、7回までに仙台南打線から7奪三振を奪う好投をみせたが、仙台南のエース小塚の前に攻撃の糸口を掴めなかった。

準々決勝	石巻市民球場	1時間 56分	打安点盗犠四三残失併
聖和学園	0 0 1 0 1 0	0 0	【聖】 33 6 2 2 1 2 3 7 1 0
柴田	0 0 0 0 0 0	0 1	【柴】 30 4 0 1 0 3 4 5 1 0
(球) 曾根徳明 (一) 高橋弥寿仁 (二) 菅原久 (三) 佐藤正江			▽本塁打 なし
【聖】 千葉	—	遠藤	▽三塁打 大場(聖)
【柴】 佐藤快, 阿部, 小島	—	佐藤遥	▽二塁打 なし (聖)
▽暴投 なし		▽捕逸 なし	鴨橋 (柴)

## 【評】

接戦を制した聖和学園が4強進出を決めた。聖和学園は3回に先制点、5回に追加点となる適時打で着実に加点。いずれも二死からの効果的な得点であった。柴田は佐藤快、阿部快、藤田の3投手が繋ぎ、聖和学園打線に対して粘り強く投げ抜いた。柴田打線は5回以降チャンスを作ったものの、走塁死や聖和学園の好守によりあと1点が届かなかった。聖和学園の先発の主戦千葉は、長身から投げ下ろす直球が球威抜群であった。9回129球を一人で投げ切り、柴田の強力打線を5安打に封じた。準々決勝に相応しい好ゲームであった。

準々決勝	石巻市民球場	1時間 41分	打安点盗犠四三残失併
東北学院榴	0 0 0 0 0 0	0 0 1	【東】 33 7 1 2 1 1 3 7 0 1
古川学園	0 0 0 0 0 0	0 0 0	【古】 31 6 0 0 0 1 5 5 0 0
(球) 三浦 徹 (一) 石川 英孝 (二) 遠見 豪志 (三) 千葉 祐介			▽本塁打 なし
【東】 佐々木健	—	澁谷	▽三塁打 なし
【古】 木谷, 秋山, 菊地	—	高島	▽二塁打 なし (東)
▽暴投 なし		▽捕逸 なし	なし (古)

## 【評】

終盤の好機を生かした東北学院榴ヶ岡が4強進出を決めた。東北学院榴ヶ岡は初回、2回と得点圏に走者を進めたが、好投を続ける先発佐々木健を援護できなかった。9回表、先頭の3番後藤が中前安打で出塁すると、二死2・3塁の好機から7番鈴木幸の内野安打で待望の先制点を奪い、これが決勝点となった。古川学園は木谷、秋山、菊地の3投手が粘り強い投球を続け、流れを引き渡さなかった。1点を先制された後の9回裏の攻撃では、一死満塁まで好機を広げたが、5番加藤の一ゴロで3塁走者が本塁封殺、2塁走者が3塁を回ったところで、捕手からの送球によって刺殺となり、試合終了となった。両校とも無失策の好ゲームであった。